

6時間でわかる！ 生産性向上！！ ◆ DX対応コース ◆

生産性向上支援訓練

コース番号：D-11

DX時代に習得しておきたいスキル

# ベンダーマネジメント力の向上

●コース番号：D-11

**11月16日(水)** 9:30～16:30 (6時間)

受講料/人

**3,300円**  
(税込)

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 推奨対象者 | 中堅層<br>※事業主からの指示を受けた<br>在職者の方に限ります。 |
| 会場    | ポリテクセンター兵庫<br>尼崎市武庫豊町3-1-50         |
| 定員    | 15名 (最少催行人数6名)                      |
| 申込締切  | 11月2日(水)                            |

☆こんな方におすすめします！

- ▶システム導入および開発の発注を検討している。
- ▶自社にマッチしたシステム開発会社（ベンダー）を知りたい。
- ▶DX時代に必須のスキルを習得したい。

## ☆コースのねらい

情報システム開発の発注者（ユーザー企業）として知っておくべき事項を理解し、システム開発会社（ベンダー）との良好な関係を築くためのベンダーマネジメント手法を習得する。

### 講師

**仲村 健太**(なかむら けんた) 氏  
株式会社日本能率協会コンサルティング

#### (講師プロフィール)

琉球大学を卒業後、2003年に自動車メーカーへ入社。ITシステム開発プロジェクトリーダーなど多種のシステム開発や事業開発に携わり、2016年に独立。現在は、IoTやAI、RPAなど先端技術に携わっている。

#### (講師から一言)

最適なシステム導入をするために必要なベンダーマネジメント力は、システム導入・開発の目利きになるだけでなく、自力でのシステム導入やシステム開発の内製化を見極める力にもなります。

### 主な内容

#### ◆ベンダーマネジメントの概要

- ①DX時代におけるITシステムの「2025年の崖」とは
- ②ベンダーマネジメントとは
- ③VMOの編成

#### ◆ベンダーの選定

- ①ベンダーの選定・評価方法
- ②システム開発プロジェクトの成功例、失敗例の紹介

#### ◆VMOが担う役割

- ①契約管理とリスク管理
- ②モチベーションおよびパフォーマンス管理手法
- ③GCDを改善するための検討

#### ◆演習

各項目ごとに演習を行います。

※状況に合わせて内容を変更する場合がございます。

-申込方法- 必要事項をご記入の上、メール：[hyogo-seisan@jeed.go.jp](mailto:hyogo-seisan@jeed.go.jp) または FAX：06-6431-7285 までお送りください。

主催：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構兵庫支部  
ポリテクセンター兵庫 生産性センター業務課

お問い合わせ/TEL：06-6431-8205 E-Mail：[hyogo-seisan@jeed.go.jp](mailto:hyogo-seisan@jeed.go.jp)

